

## ⑥明治天皇ご巡幸のご休憩所跡・落合滝



明治天皇ご巡幸のご休憩所跡



現在の萬代橋



落合滝



当初の萬代橋(メガネ橋)

※画：高橋由一  
「羽州街道 及位宿」より

明治 13 年 12 月、初代山形県令(現在の知事)三島通庸によって、山形・秋田を結ぶ主寝坂峠・雄勝峠の開削工事が完了した。

金山新道開削が終わった翌 14 年 3 月、新及位塩根川に架かる石橋が着工され、8 月に完成した。コンクリートを一切使用しない石橋で、当時の日本技術の粋を駆使したものであり、地元の人々は「メガネ橋」と呼んで誇りとした。※現在の橋は、昭和 50 年 8 月 6 日、大水害により石橋の一部と欄干が流出したためにかき替えられたもので、「メガネ橋」の姿は見ることができない。

明治 14 年 9 月 22 日、明治天皇は秋田県よりご巡幸なされ、午前 9 時頃、石橋脇に新築された高橋作右衛門家でご少憩された。このとき同行された有栖川宮殿下が、落成後間もない石橋に「萬代橋」とご命名された。天皇は落合滝の豪快な絶景をご覧になり、川田一等編集官に三瀑の光景を漢詩にするよう申し付けた。

天皇の行列は新道となったばかりの主寝坂峠を越え、金山町に向かわれた。

※「羽州街道 及位宿」から一部抜粋

【メモ】